

南九州 畜産獣医学拠点 を知る

—第4回—

市は鹿児島大学と連携し財部高校跡地に「南九州畜産獣医学拠点」の整備を進めており、令和6年4月1日の運用開始を目指しています。今回は、馬エリアについて詳しくご紹介します。

馬エリアについて



Q1

なぜ馬を飼育するの？

牛・豚・鶏と比べるとあまりなじみのない馬ですが、鹿児島大学が取得した欧州獣医学教育国際認証(EAEVE認証)では、馬の救急獣医療の教育実習が必須となっているため、馬も飼育することになりました。



Q2

EAEVE認証ってなに？

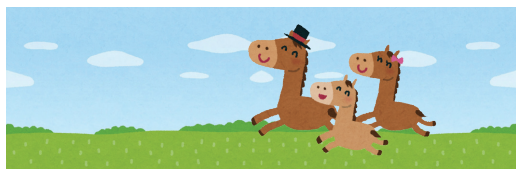
鹿児島大学を含む4大学がアジアで初めて取得した獣医学における国際認証です。これにより、国際標準の獣医学教育を行っていることが認められました。世界的に流行する疾病の制御や食の安全にかかわる獣医師など世界に通用する人材の育成が期待されます。



Q3

どんな施設ができるの？

拠点内に新しく^{きゅうしや}厩舎を設置し、20頭程度の馬を飼育する予定です。旧体育館を改修して全天候型の屋内馬場を整備するほか、屋外馬場も整備し、馬がストレスなく過ごせる環境をつくりまします。



※イラストはイメージです

Q4

乗馬はできるの？

皆さまが馬とふれあっていただけるように乗馬体験なども検討しています。馬事業を運営する民間事業者と協議をしながら、市内外から人が集まる施設になるよう、事業を行っていきたいと考えています。



【馬エリアに関連するSDGs】



次回は、南九州畜産獣医学拠点の総括(その1)について詳しくご紹介します。

主なスケジュール(予定)

令和5年3月 研究棟・教育棟・連携棟改修工事完了
牛舎・鶏舎新築工事完了
令和5年中 馬エリア施設整備
令和6年4月 運用開始

